

## 【防災情報】栗原市の排水作業に一定の目処(第9報)

7月26日の低気圧による降雨で、三迫川(さんばざまがわ)流域の「照越(てるこし)川」において堤防決壊による浸水被害が発生したため、東北地方整備局では現在、排水ポンプ車3台(30m<sup>3</sup>/min級2台、60m<sup>3</sup>/min級1台)、Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)1台、ゴムボート1台を派遣し対応にあたっております。

これまでの排水ポンプ車による排水作業により、冠水面積は130haから40haへと大幅に縮小しました(栗原市からの情報)。

水位低下に伴って、排水ポンプ車60m<sup>3</sup>/min級のポンプが吸い込み限界に達したため運転を停止させ、30m<sup>3</sup>/min級2台で作業を継続しています。

### 1. 事務所体制

(応援支部)平成25年7月26日(金) 21:00 注意体制

(応援支部)平成25年7月29日(月) 19:00 通常体制(応援支部は継続)

### 2. 支援内容(7月31日10時00分以降)

#### (1) 人的支援

7月31日 リエゾン1名派遣

8月 1日 リエゾン1名、TEC-FORCE1名派遣予定

#### (2) 災害対策機械派遣

排水ポンプ車(30m<sup>3</sup>/min級) × 2台 継続中

排水ポンプ車(60m<sup>3</sup>/min級) × 1台 継続中

Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置) × 1台 継続中

ゴムボート × 1艘 継続中

### 3. 排水作業に伴う水位の経過(測定場所:横須賀排水機場)

7月27日16:00 6.64m

7月28日16:00 7.01m (37cm上昇)

7月29日16:00 6.95m (6cm低下)

7月30日16:00 6.55m (40cm低下)

7月31日16:00 5.97m (58cm低下)



7月27日の冠水状況



7月31日の冠水状況

※【リエゾン】とは:各自治体に対し、的確かつ迅速な災害対応支援を実施するため、「災害対策現地情報連絡員(リエゾン)」を被災市町村の災害対策本部等に派遣し、積極的に情報の収集及び提供を行う制度(平成19年12月創設)

※【TEC-FORCE(テックフォース)】の目的:大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を、国として円滑かつ迅速に実施することを目的とする。(平成20年5月創設)

※【Ku-SAT(ケーユーサット)】とは:緊急通信・災害復旧通信等、災害現場との通信の確保が必要となったときに、通信衛星を中継し、災害現場から災害対策本部間の回線設定を行い、被災状況把握や復旧作業を円滑に行うために電話や被災地映像を配信する機能を持っております。

#### 4. 今後の見通し

新たな情報が入り次第、お知らせいたします。管内の情報は次のURLからご覧になれます。

○北上川下流河川事務所Webサイト URL【 <http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/> 】

発表記者会:石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 宮城県石巻市蛇田字新下沼80 電話:0225-95-0194(代表) 副所長(企画) 佐藤 正明(内線205) 防災情報課長 西川 文隆(内線281)